

議 事 概 要

会議名	平成26年度 第5回 海津市地域公共交通会議
日時	平成26年10月29日（水）10:00～12:00
場所	海津総合福祉会館ひまわり2階 研修室
出席者	委員20名 事務局6名
議 題	1 海津市コミュニティバス バス停位置・名称変更について 資料1 2 養老鉄道利用者実態調査結果について 資料2 3 海津市バス路線再編実施計画（素案）について 資料3
議事概要	議題 議題1 海津市コミュニティバス バス停位置・名称変更について ○事務局から説明（資料1に基づき説明） ・海津市コミュニティバスのバス停位置・名称変更について ○委員からの質問・回答、意見等 ・駐車場内にバス停をつくり、事故が起きたらどうなるのか。 →道路交通法に関しては適用されない。 ・事故というのは3つの要件で事故になる。公共の場所であるかどうか。そして、車両。その結果として、怪我をしたかどうか。場所が道路上でも、駐車場でもあっても交通事故として扱われる。バス停の場所が変わっても、道路上でも、駐車場でも、交通事故として扱うので、変わりはない。また、平田支所のバス停は、駐車場内に、バス停として、枠をとって使う。バス停の位置を指定しており、車を駐車されないことであれば、妥当である。 ・隣に道路があるのに、なぜ駐車場内につけるのか。 ・一般論であるが、道路は、歩行者、自転車、自動車、色々と通って危ない。駐車場のほうが広く、安全である。バス停枠と駐車場枠を、一般車両が区別できるかがポイントである。 ・変更の場所の利点を教え欲しい。 →南濃庁舎、平田庁舎は事務所の場所は、すべて事務所がなくなり、人もいなくなる。現状のバス停は、雨避けがあるなど、使いやすくなっている。今の、支所に近い所で、全を確保できる場所として選定した。 ・安全面に関しては、土曜日だと野球をしに来る人が駐車している。そこで、ボールが車に当たる場合もあった。明確にバス停の位置が分かるような処理をお願いしたい。 →バス停の位置表示だが、海津庁舎のバス停と同じ様に、路面表示する。今の駐車ラインを消して、バス停の路面表示をする。 ・14両の減車分を、どこでフォローするのか。 →減車分については、玄関の方、北側に3箇所枠を設け、車椅子用の枠を1つ追加する予定である。 ・この場所は、吹きさらしとなる。秋の西風が強い日は、グラウンドの砂が飛んで来たりする。雨の時は大変そうである。何か処置の考えはあるか。囲いをするとか。 →今後の利用者状況、施設の自転車置き場の状況等を踏まえて、改善すべきところがあれば方法を考えて行く。 ・反対側の屋根のある所、進入路を北へもっていった方が、効率的ではないのか。図書館

の前あたりにしたらどうか。

- ・その場所は、タイムケアのバスが3時半から4時頃、屋根のある所に停まって車椅子の子も濡れないようにしている。この時間帯は困る。また、この道路は、ゲリラ豪雨の時川になって渡ることも出来なかったのも、ちょっと難しいと思う。

→図書館の前まで、タイムケアの小型バスは入っている。小型のバスは、ギリギリ入れるが、中型のバスだと入れない。また、道が狭いので、バスが止まってしまうと、他の車が通れなくなってしまう。

- ・逆に、真中の北へ抜ける道の東側などの方が雨風のある時は、助かるのではないかな。やすらぎ会館で待っていることもできる。

→そのまま東へ移すとすると、ガードパイプを外すと、東側ではスペースがなくなる。

- ・北へ抜ける道路を、西の方へ振ればいいのか。
先程のゲリラ豪雨の時の水浸しになるとのこと、自治会で側溝掃除を行った。

- ・西側の体育館の前にもっていった方がいいのでは。

→土日には路上駐車が多くなり、そこを規制することが難しい。

- ・今の案の方が、費用的にはかかるのではないかな。路上駐車規制を重視すべきではないかな。

→駐車場の方が位置は近い。風雨時は、駐輪場の方を活用して頂きたい。

- ・利用者の利便性を考えると、どうなのか。

→距離的な方を、優先した。交通状況により、バスが止められない可能性の方が高い。そちらを優先したい。

- ・利用者の便宜を計るという意味では、雨風の対処を少し考えて頂きたい。

→平田支所のバス停は、今のご意見を踏まえて進めていく。

- ・駐車場の区画線は未だ入っていないのか。

→これからの対応である。

- ・北東の方は引けないのか。10台程度は確保できそうではないかな。

→鉄塔があるため難しいと考えられる。総務課とも協議したい。
区画線は全て引き直すものとし、駐車台数が減らないよう検討する。

- ・平田庁舎の裏の職員用駐車場が、かなり空くのではないかな。東の方に持っていく件にこだわりがある。

- ・バス停の移動は、支所の移動と利用する人への配慮である。建物が無い所にバス停があるのもおかしい。しかし、移動後は吹きさらしとなる模様。座る所もなくしては、利用しにくい。バス停を動かす理由を再度確認したい。

→今の平田庁舎には、人が居なくなるため通常の業務が無くなる。やすらぎ会館に支所が入るので、その入り口になるべく近いところ、さらに複合施設であるので、なるべく入り口に近い場所として、最善のものと認識している。

- ・体育館前の職員駐車場が空くので、利便性と安全を考えると、その方がいいのではないかな。

- ・体育館としては、土日の利用者が結構みられる。

- ・個人的には現案が妥当だと考える。

・コミュニティバスは、高齢者や、体が不自由な方が利用されるのが多いと想定される。その方達にとって、100mは結構大きい。その方々が、図書館や、デイサービスを使う事を考えると、近いほうがいい。東側の方、考える価値はありそう。北西の方、やりようはありそう。今後の状況を見て改善していくことも認識し、各案のメリットデメリットを再整理してもいいのではないかな。

・バス停は、通過のみなのか。長時間停車することはないのか。
→通過のみであるが、発車時間までに1、2分停車することはあるだろう。

・やすらぎ会館の所はバス回れないのか。
→中型以上とすると難しい。

・回転は無理か、どこかを削れば広くならないのか。ロータリーのようににはできないのか。
→切り返しは必要である。

・スペースの工夫で回転できるのではないかな。

・現状では玄関に横づけできる方がベストだが、切り返さなくても済む対処が必要。平田支所のバス停は検討し、次回再提案でお願いする。仮に原案の場所であれば、雨避けを設置するように、考えさせてもらう。海津温泉では300万ぐらい掛かっている。
→次回になると、1月から間に合わない。

・地域の意見を聞く機会はあるのか。
→議題3にある素案について、本会議を通れば、11月末～12月初旬で市内10カ所で意見交換を実施する。

・平田庁舎のバス停については、ここでの議題というよりは、もっと地元の意見を聞ければと思う。平田地域の人は沢山利用されている。

・1月2日からの予定であるが、陸運局の協議などは今後、関係ないのか。

・11月末～12月初旬に住民の意見を聞き、12月中にこの会議で議決したとして、これだけの変更が届出か、認可になるのか確認したい。
→1月に間に合うようにすると1ヶ月半程度を想定していたが、届出で済むのかは確認できていない。

・届出で済むのではないかな。

→平田バス停の移動について、色々のご意見頂きありがとうございます。今回、提案しているバス停の移動については、11月末～12月初旬に行われる地区懇談会で、平田の地区の方には、バス停の事も含めた意見を聞いて決めていきたい。1月2日からは、平田だけが遅れてバス停を移動することも想定されるので、ご理解をお願いしたい。

○海津庁舎バス停を海津市役所バス停に名称変更、南濃庁舎バス停を城山支所バス停に名称変更し位置を移動することについて承認。平田庁舎バス停については、意見交換会で意見を聞き再度議題とすることです承。

議題2 養老鉄道利用実態調査結果について

○事務局からの説明（資料2に基づき説明）

・養老鉄道利用実態調査結果について

○委員からの意見等

・貴重な意見を賜ったそういった機会と捕らえる。この資料を拝見し、期待を感じる、厳

しいご意見も頂いた。厳しい経営環境であるが、安全第一に、ご意見・ご要望に答えていけるよう引き続き努力したい。

○コミュニティバスの運行ダイヤ等の検討・反映するということで、報告として了承。

議題3 海津市バス路線再編実施計画（素案）について

○事務局からの説明（資料3に基づき説明）

・海津市バス路線再編実施計画（素案）について

○委員からの質問・回答、意見等

・費用の面は、検討課題にしていないのか。こうやって欲しいとなると、もちろんお金がかかる。その費用を提示した方がいいのではないか。

→実際、お金がこれだけ掛かって、どこをどうすると「安くなる」という内容は、今回お出ししていない。その前に、準幹線や支線といった位置づけを明確にしたい。現状、バスは長い時間かけて路線を回っている。もっと短縮もあり得る。現状より、費用削減があるのか、デマンド方式にすれば安くなるということではない。まだ何ともいえない。

・幹線を引いて、重ねてデマンド型のゾーンをひく。そうすると、デマンドの方が便利であり、幹線を引いても一部の路線しか利用されなくなるのではないか。システムの導入には費用かかる。全てデマンドとすると、やればやるほど高くなるだろう。その辺りは考慮して欲しい。市として、幹線と養老鉄道の関係、デマンドの位置づけはどうか。→準幹線の位置づけは、高校生の通学、鉄道駅、市役所をつなぐ。それと、観光を考慮した路線として意識している。幹線とデマンドの併用は未だ悩ましい部分だが、デマンドは高齢者等の交通弱者の利用を想定している。デマンドでバスを利用してもらえよう、促進する料金設定も考える。コミュニティバスの幹線については、観光利用も視野に入れている。

・デマンド方式は便利だとは思う。しかしシステム構築が難しそうである。もっと考えていただきたい。観光と交通弱者については、考えを分けた方がいいのではないか。

高齢者で利用される方には、介助者、ヘルパーが必要な場合も多いので、そちらへの割引補助なども考えて欲しい。乗り継ぎも細かいところまで考えて欲しい。

→デマンドシステムは例示であり、このまま導入するということではない。想定では、電話予約を取り入れる。デマンドについては今よりもバス停を増やしていきたい。医院の前などバス停を作りたい。帰りは、医院に協力してもらって運用するのもいい。

一人では乗れない方のヘルパーなどへの割引は、現状のコミュニティバスでも割引をしているので、引き続き検討し、乗継ぎしやすいようにしていきたい。デマンドの使い方等については、老人クラブの会合等に出向いて説明会を開き、周知を図りたい。

・デマンドの基本的な考え方としては、交通弱者対応なのか。健常者の為なのか。交通弱者、何歳以上の高齢者などの制限を設けるのか。

さらに、資料5ページにある運賃について。200円にアップする件、この場だけで検討するのはどうか。

→1点目のデマンドに交通弱者の要件を設けるかどうかについて、運転免許返納者の外出を助けることなども想定している。現状、特に制限を設けるものではない。

次に資料5ページ、運賃200円の件であるが、現状、すぐ近くでも、岐阜羽島まで行っても一律100円だが、これは見直したいと認識している。

・今度、地域ごとに意見交換会があるので、今日ここでの決定とはならない。意見交換会では、ルート案、運賃、デマンドに関しては事務局から分かりやすくしてやってもらうこと、その後にこの会議で議決という流れでいい。前回の説明会では出席者が少なかった。説明会に、出席する人を如何に増やすかが重要。今回は昼間の開催でもあり、沢山

の人を集めて、色んな意見を聞いて頂きたい。

- ・現案については、海津市を含む広域との関係の確認が思う。養老鉄道や、岐阜羽島、石津駅など、市民が動きをイメージできるようにして欲しい。そうすると空白地が分かり、そういう地域をデマンドにして、幹線はバスの利用を高める方がいいのではないか。

コミュニティバスが、バリアフリー化していないのではないかな。福祉利用は、デマンドでそろえるなど別途考えた方がいいのではないかな。

現状では養老鉄道との接続も悪い。海津に入ってくる方面も大事。10時の会議に、着くバスが9時9分しかない状況。

- ・幹線とデマンドの重複について、人口のメッシュデータにより、こういったエリアが交通空白地となるか確認することも必要ではないか。駒野から北の川沿いなどが想定されるが、個々に確認すべきと考える。そういった所、エリアでは、デマンドによる予約制というのがいいと思う。

- ・昼間、特に幹線バスの利用は少ないのではないかな。今、利用している高齢者は、デマンドに移行すると思われる。通勤通学時間帯の後は、ほとんどデマンドで済むだろう。コミュニティバスは無駄な運行となるかも知れない。一方、一度デマンド交通を導入し、便利になってくると、コストも上がって中々元にも戻せなくなる。

- ・コミュニティバスの利用者が、デマンドの利用に移ってしまうことはあるかもしれない。十分気をつけたい。昼間の利用が少ない所については、コミュニティバスは止める。限定してやらない。事務局側から話があった、岐阜羽島の方から、お千代稲荷の方に観光で来られる方がある。そこで定時線路線として残したいのも理解できる。例えば、岐阜羽島からお千代保稲荷を通過して、海津庁舎か、海津温泉くらいまでに絞る。デマンドの方は、お千代保稲荷、海津庁舎、資料案にある共通エリアまでは行く。そこからは、幹線に乗ってもらう。そのような工夫はできなくはないだろう。そういうのもありかなと思う。

- ・デマンドの方は、例えば友達の家へ行くような場合も利用できるのか。タクシーの代替になるのか。公共施設、病院、福祉施設、買物等々、目的地によるデマンド利用というの考え方としてあるだろう。タクシーの代わりに利用できるというのはどうか。利用先を限定してもいいのでは。例外的に障害者はあるだろうとして、幹線バスとの重複は懸念する。

- ・「まごの手クラブ」として、私共は有償運送をやっており、身体障害手帳、支援を使われている方、介護認定の1～5度というように対象を設けている。介助者にも対応して、病院まで送迎している。少ないスタッフなので大変だが、当日のご連絡でも、車両さえ空いていれば対応している。どうしてもデマンドでなければ、ということでもないだろう。

→デマンドでは、家まで迎えに行き、目的地まで送り届ける、「ドアトゥドア」は、想定してない。合わせて福祉バスや、タクシーも利用していただく想定である。その代わり、現状よりもバス停を相当数増やし利便性を高める考えである。

- ・バス停の検討、利用者目線の考慮をお願いしたい。アンケートについて、調査結果での要望について、出来たこと、改善したところなどフィードバックして広報をお願いしたい。市にも検討をお願いしたい。山田委員の意見も大事。これから地域にも意見を聞いて、案への反映をお願いしたい

○海津市バス路線再編実施計画（素案）については、今回の会議での意見を踏まえて、地域住民説明会を進めていくことで了承。

その他

○事務局から今後のスケジュールについて説明

閉会